

平和を守る全国弁護士会アクションの日 憲法を考える市民集会

敵基地攻撃と日米一体化 ～防衛費増強は国民負担に～

2015年、安倍政権は、集団的自衛権行使を容認する安保法制を制定しました。2022年、岸田政権は、いわゆる安保三文書を策定し、それまでの専守防衛政策を転換し、日本が相手の領域内を直接攻撃する「敵基地攻撃能力」（反撃能力）を保有することを明記するとともに、防衛費を5年間で約1.5倍の43兆円、GDP比2%とする方針を打ち出しました。昨年発足した高市政権は、この安保三文書を本年中にさらに見直すことを表明しています。

一方で、トランプ政権は、ベネズエラやイランに軍事侵攻するとともに、日本に対してはさらなる防衛負担を求めています。

このような軍拡競争の先にどのような現実が待ち受けているのでしょうか。

半田滋氏は、長年にわたり自衛隊の取材を続けてこれ、自衛隊が変容し、日米が一体化してきていると警鐘を鳴らしておられます。本公演では、最近の情勢を踏まえた実態をお話しいただき、日本の安全保障のあり方を一緒にお考えいただきたいと思います。

講師

防衛ジャーナリスト
元東京新聞論説兼編集委員

半田 滋 氏

1955年（昭和30）年生まれ。防衛ジャーナリスト、獨協大学非常勤講師、元東京新聞論説兼編集委員。元法政大学兼任講師。元海上保安庁政策アドバイザー。92年より防衛庁（省）取材を担当。2007年、東京新聞・中日新聞連載の「新防人考」で第13回平和・協同ジャーナリスト基金賞（大賞）を受賞。



日時

2026年10月31日（土）
午後1時30分～4時00分
（開場 午後1時00分）

場所

あきた芸術劇場ミルハス
4階 小ホールA

入場
無料

事前
申込み
不要



秋田弁護士会
マスコットキャラクター
ききーぬ

主催：秋田弁護士会 TEL:018-862-3770
共催：日本弁護士連合会、東北弁護士会連合会